

# 運河の標 —中川運河再生計画—

かつて栄えていた中川運河。  
衰退が続く今、過去の記憶と共に新しいにぎわいを呼び戻す。  
これは中川運河の新しい拠点の計画である。



小栗橋から見る



遊歩道入口から見る



3階展望台から中川運河全域を見る

## Site

### 名古屋市中川区露橋水処理施設

笹島ライブのすぐ南に位置し、中川運河と堀川の交点である。

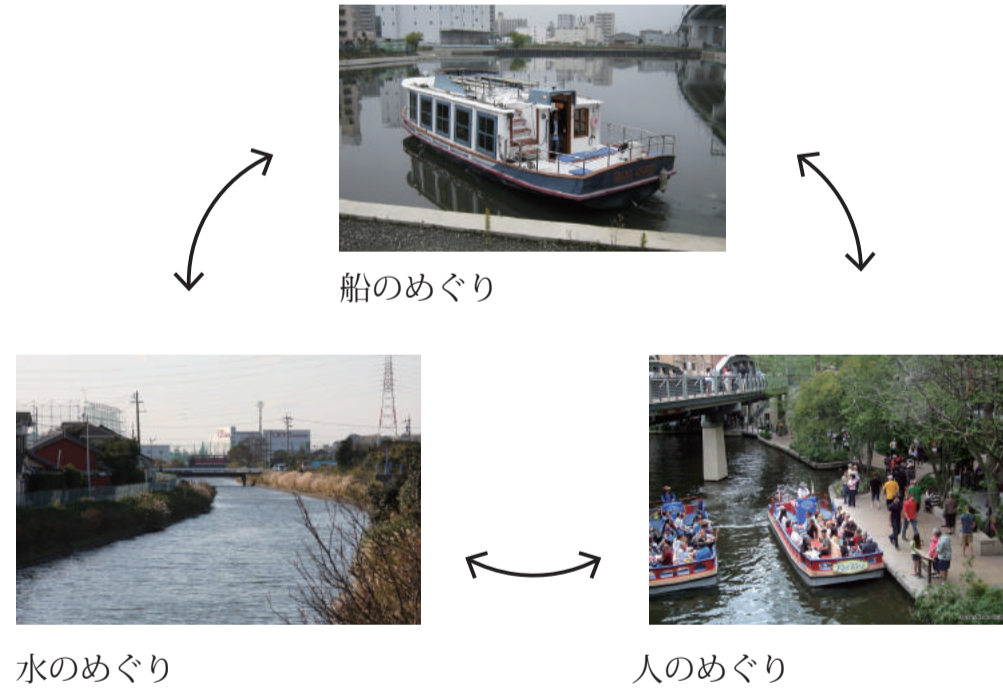
名古屋市の提示するマスタープランでは、名駅からヒトを呼び込む地区として位置付けられているが、水処理施設があることで人が入りづらくなっている。



## Concept

かつて「モノを運ぶ」ことで栄えていた中川運河を「ヒトを運ぶ」ことで再生する。

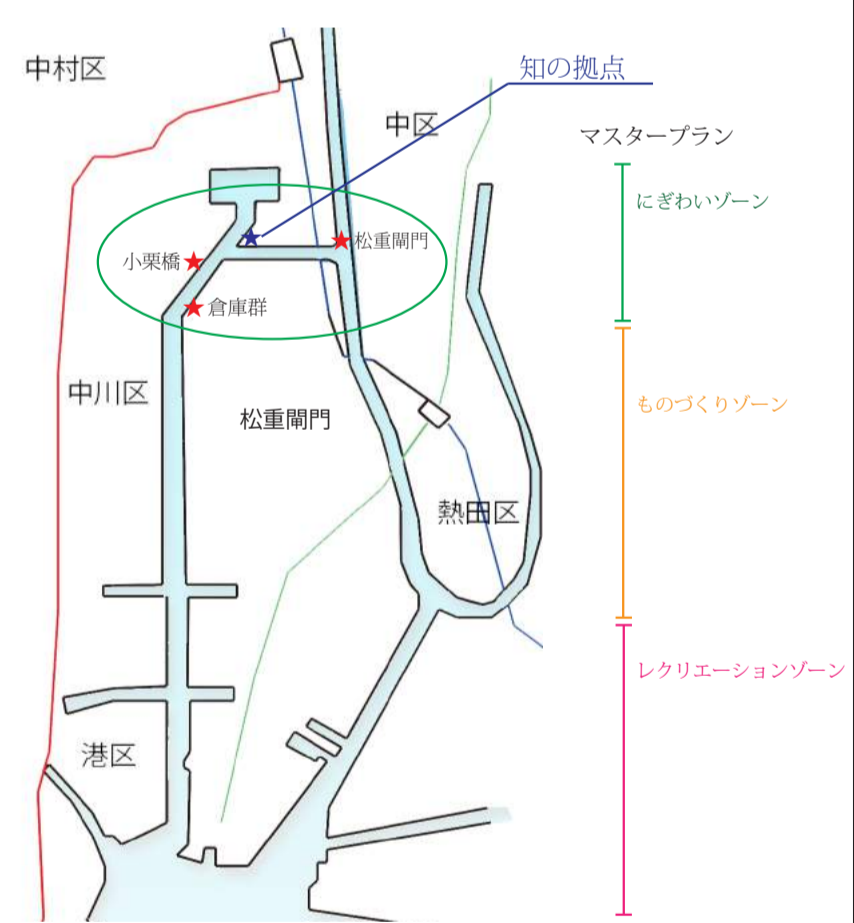
「めぐる」でつながる



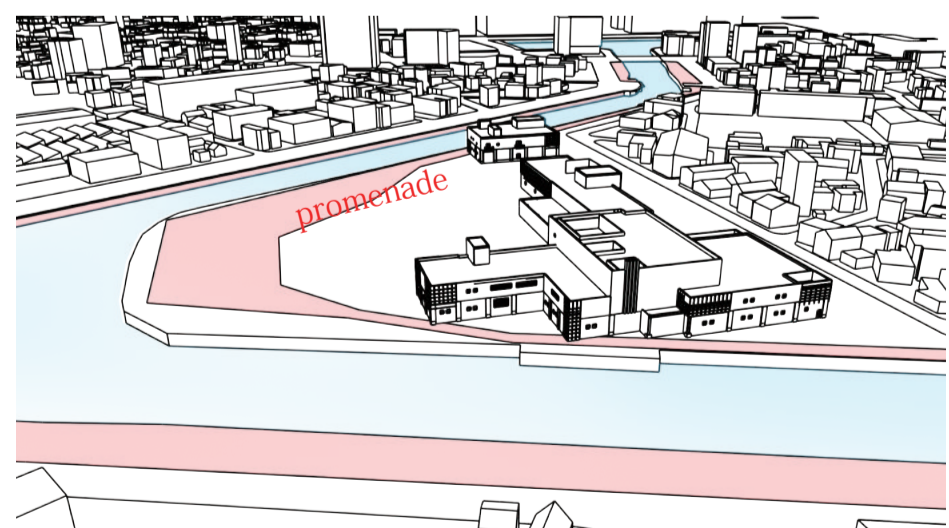
## Proposal

露橋地区…歴史的景観が多い

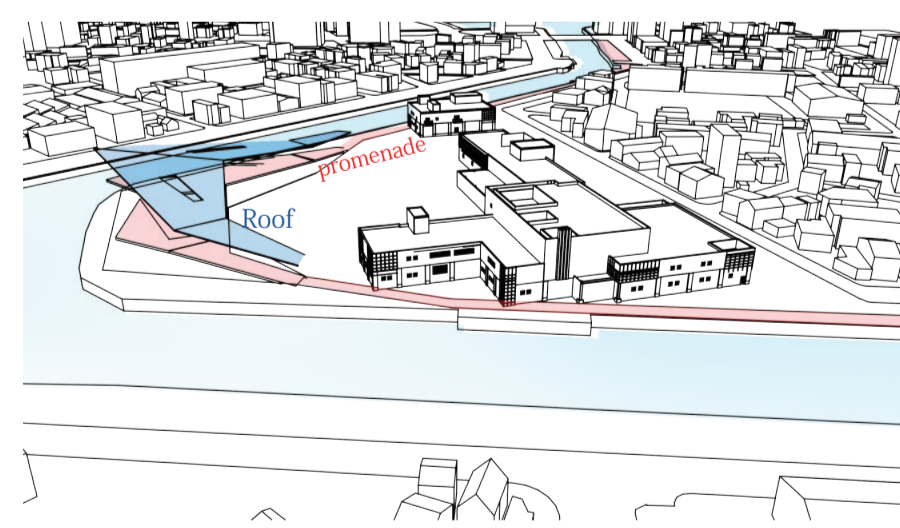
この地域を中川運河の「知の拠点」と位置付けて景観と共にある、中川運河資料館と展望台を提案する。



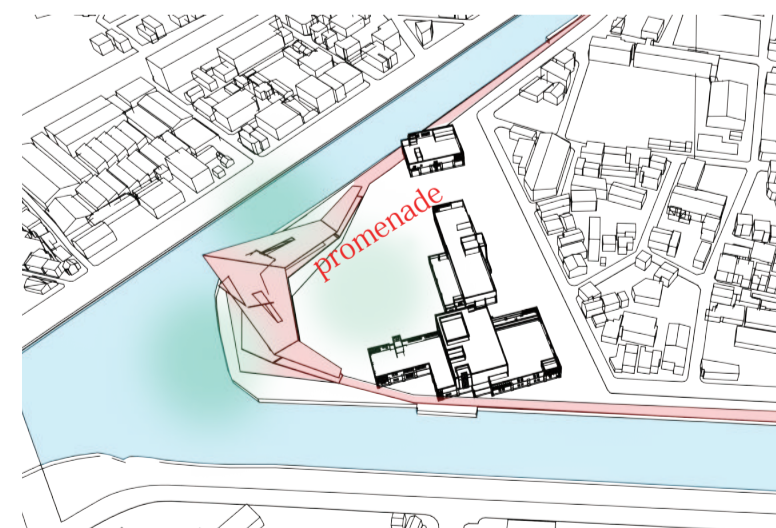
## Diagram



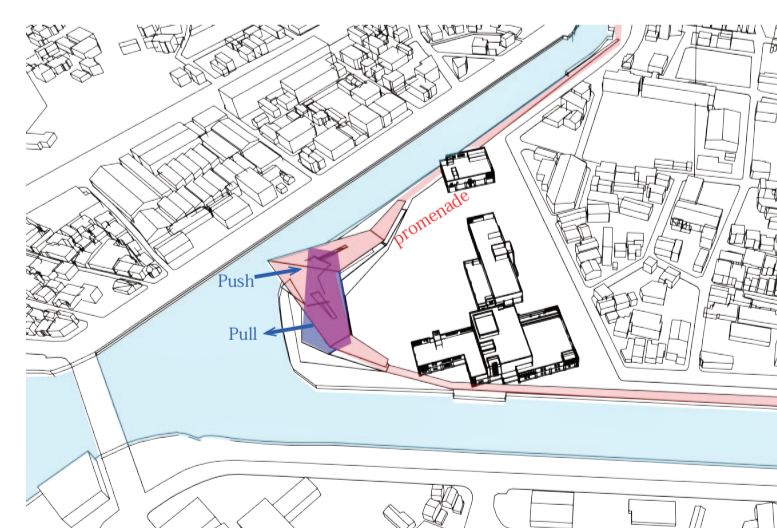
都市軸に沿って中川運河沿いに遊歩道を設定し、遊歩道に沿ったランドスケープを作る。



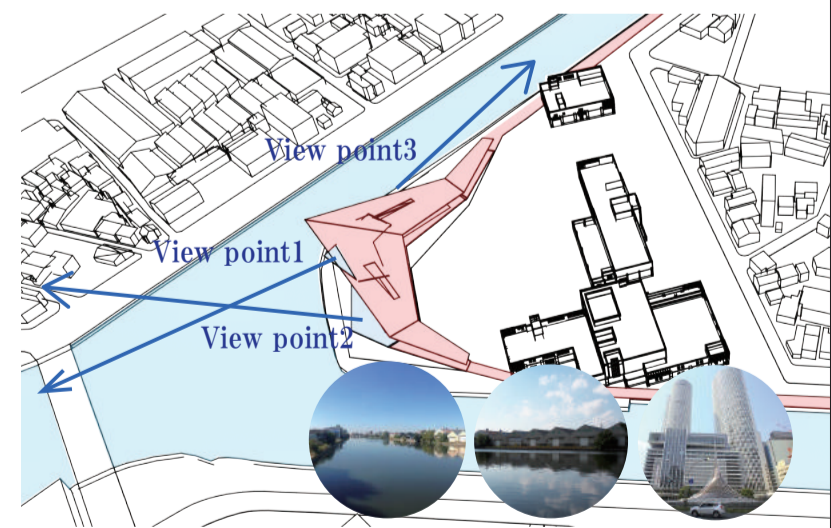
遊歩道を持ち上げスラブを挿入し大屋根をかける。遊歩道が内部となり建築化する。



中川運河沿いに3つの広場を設ける。



挿入したスラブを出し入れすることによって、1枚のスラブに内部や外部ができる。



引き出したスラブに3箇所のView pointを設定し展望台となる。

